

スムーズに、スピーディに 修繕工事を進めます。

地域住民や通行者が抱く工事への不安感、同時に工事関係者の悩みでもありました。「ネプラス工法」による迅速な側溝修繕工事は両者にとって最適な工法です。

側溝における修繕工事のスピードアップは、自治体の方々を中心に、多くの方々が待望されていたことでした。この「ネプラス工法」では、側溝の上部だけを切断して修繕するため、従来の工事に比べて3分の1から4分の1の時間で、修繕箇所の長さが10メートル以内であれば、工事は1日で完了。交通規制は即日解除され、車輛の通行は最小限の時間で開放することができます。

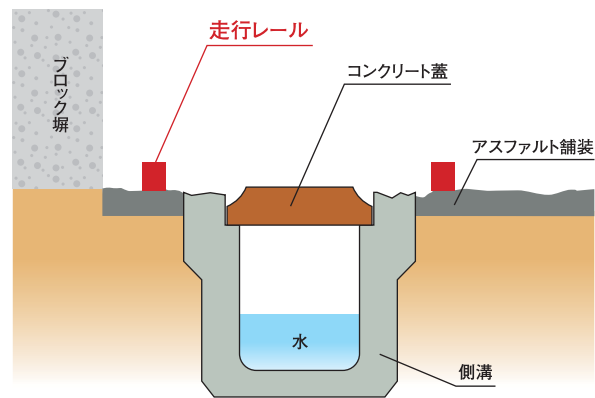
サイドカッティングマシンの開発により、
従来より格段に短い施工時間を実現しました。

既存の側溝の上部は、新開発の横方向切断機サイドカッティングマシンにより切断します。今までの手作業による切断は大変危険でしたが、このサイドカッティングマシンにより、安全かつスピーディーに側溝を切断することが可能になりました。また、操作も簡単。自動走行により安全に切断することができます。ブレードに水をかけながら切断するため、気になる粉じんも発生しません。なお、レールが設置できる幅(5cm)があれば、片側に障害物があっても切断できます。



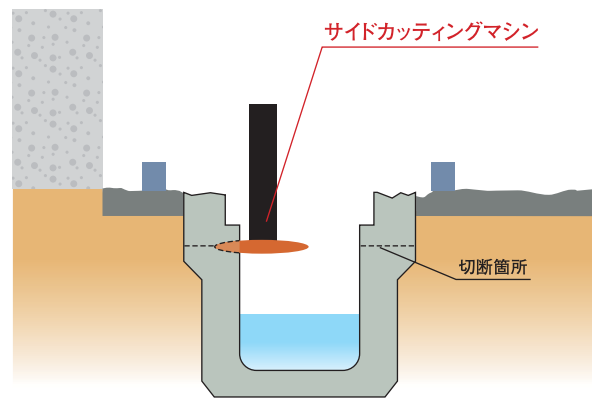
※撮影のためブレードカバーをはずしています。

その1 走行レール設置



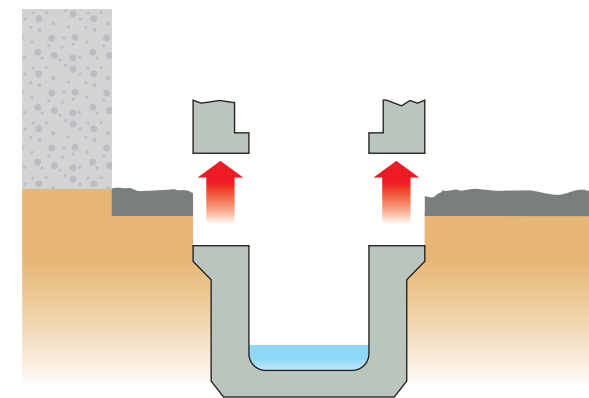
サイドカッティングマシン用の走行レールを設置します。

その2 側溝切断



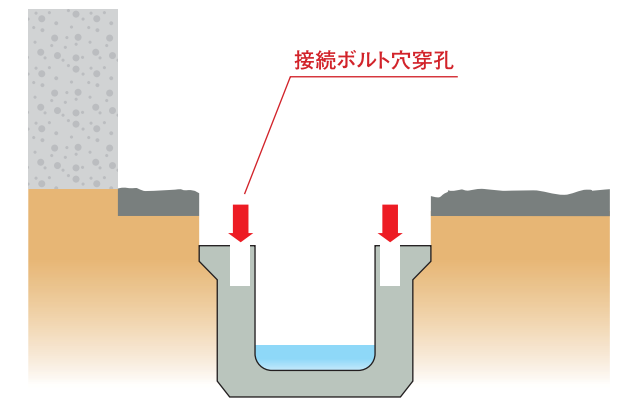
横方向切断機サイドカッティングマシンにより、傷んでいる既存側溝上部を切断します。自動走行により安全に切断していきます。

その3 コンクリート撤去



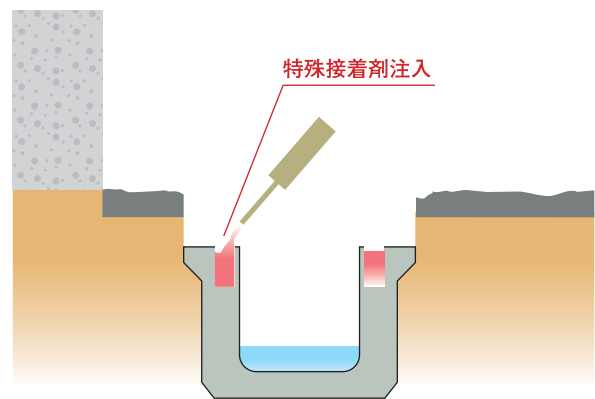
切断したコンクリート部分を撤去します。従来工法とは違い、コンクリート廃材も80%削減します。

その4 ボルト穴穿孔



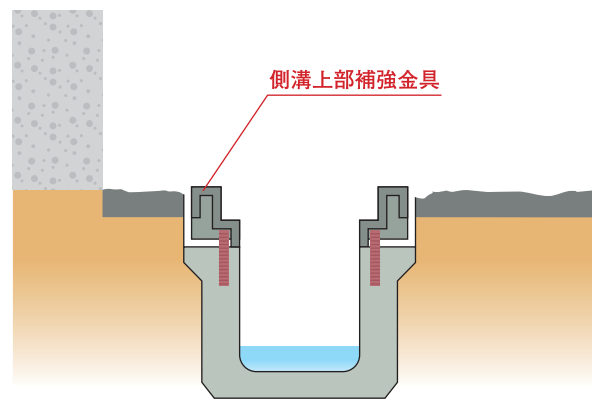
接続ボルトは既存側溝と新設部の連続性を図る為のものです。決められた箇所に接続ボルト穴を穿孔します。

その5 特殊接着剤注入



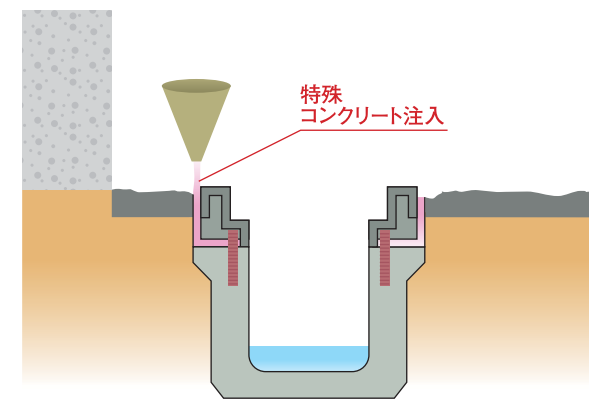
接続ボルト穴に特殊接着剤を注入します。

その6 側溝上部補強金具据付



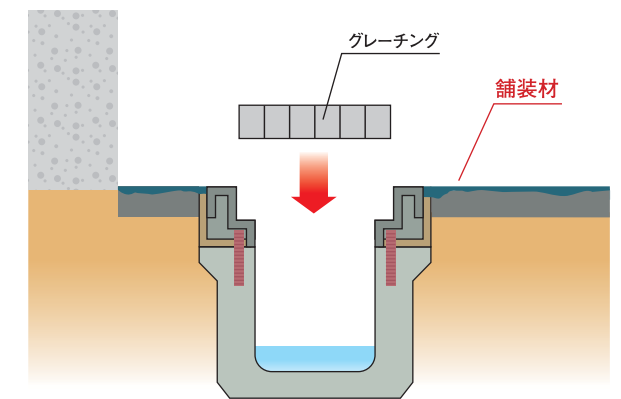
開発製品の側溝上部補強金具を据え付けます。設置完了後、接続ボルトを挿入し、高さ調整を行います。

その7 特殊コンクリート流し込み



特殊コンクリートを注入することにより、側溝と地盤とが密着し、より一層の強度を保つことが可能です。

その8 舗装合材すりつけ



合材ですりつけ舗装を行い、路面と側溝との間に出来た段差を解消して一連の作業が完了します。

※すりつけ舗装厚さが薄い場合は、特殊合材を使用する場合もあります。